

長崎の林業

小曾根星堂書



ツクシシャクナゲ

7

目次

● 林政だより	市町村の行政支援「地域林政アドバイザー」.....	2~3
● 特集記事	ちびっこ創作村 入枝 恵美子さん	4~5
● 林業普及だより	平成30年度森林・林業技術者育成研修 基礎編	6
● 地方だより・県央	第4回多良岳ツクシシャクナゲ祭り開催	7
● 地方だより・五島	新上五島町のみどころ 奈良尾のアコウ樹	8
● 林業団体情報	小場政昭氏 農林水産大臣賞受賞!!	9
● センターだより	平成30年度の研究紹介～森林研究部門～	10
● 紹介コーナー	渡部商店	11
● ながさき県民の森	野生きのご観察会Ⅱ	12



2018
No.754

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！



この用紙は、日本の森林を育てるために
間伐材を積極的に使用しています。

FREE

ご自由にお持ち下さい。

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。
「長崎県庁」のホームページ「広報」→「県の発行物」からもご覧いただけます。

林政だより

市町村の行政支援 「地域林政アドバイザー」

地域林政アドバイザー制度とは

市町村が、森林・林業に関して知識や経験を有する者を雇用する、あるいはそういった技術者が所属する法人等に事務を委託することを通じて、市町村の森林・林業行政の体制支援を図るものです。

この取り組みを行う市町村に対しては、特別交付税により雇用や委託の経費が支援されます。

- ・ 森林総合監理士登録者又は林業普及指導員資格試験合格者（林業改良指導員及び林業専門技術員を含む）
- ・ 技術士（森林部門）
- ・ 林業技士
- ・ 認定森林施業プランナー
- ・ 地域に精通する方で、林野庁が実施する研修又はそれに準ずる研修を受講する者

地域林政アドバイザー制度の必要性

現在、国では森林環境譲与税（仮称）や森林経営管理法の施行に向けて、準備が進められています。これらの取り組みは、地域の森林のマスタープランである市町村森林整備計画を策定する市町村が中心となって進められます。市町村において、このような取り組みを支援するために地域林政アドバイザーが設けられました。

※実際に地域林政アドバイザーとして活動されている方の要件の事例です。

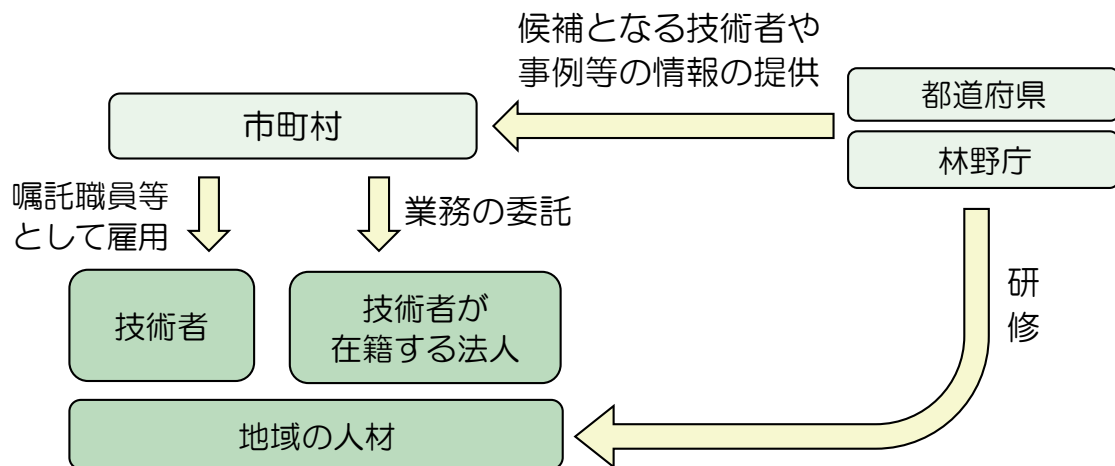
- ・ 森林施業プランナー（森林組合職員）
- ・ 森林総合監理士（元県職員）
- ・ 林業改良指導員（元県職員）
- ・ 林野庁研修受講（元大学教員）

地域林政アドバイザー対象者の要件

以下のいずれかに該当する技術者の方、又はその技術者が在籍する法人が対象です。

地域林政アドバイザーの活用例

- ・ 市町村森林整備計画及び構想の作成関係業務
- ・ 伐採・造林の指導・助言
- ・ 民有林における地籍調査、境界明確化活動の指導・助言



地域林政アドバイザー制度のスキーム

- ・森林 GIS、林地台帳システムの整備、メンテナンス（新たな土地所有者届出や所有者からの修正申し出を踏まえたデータの更新）への助言

等

※施策の企画立案や林業関係者等への指導・助言といった政策にかかわる活動を対象としており、単なる巡視などの単純な活動は対象となりませんので、ご注意ください。

県内での地域林政アドバイザーの活動事例

長崎県内では大村市にて地域林政アドバイザーの活動が行われています。大村市では市営林の管理の一部を長崎南部森林組合へ委託しており、平成29年度からは地域林政アドバイザー業務も併せて実施しています。長崎南部森林組合は、実際には市営林

の管理だけでなく、間伐計画の策定支援、森林経営計画の指導・助言なども行っており、計画的に森林を管理・経営するように大村市と連携した活動を行っています。

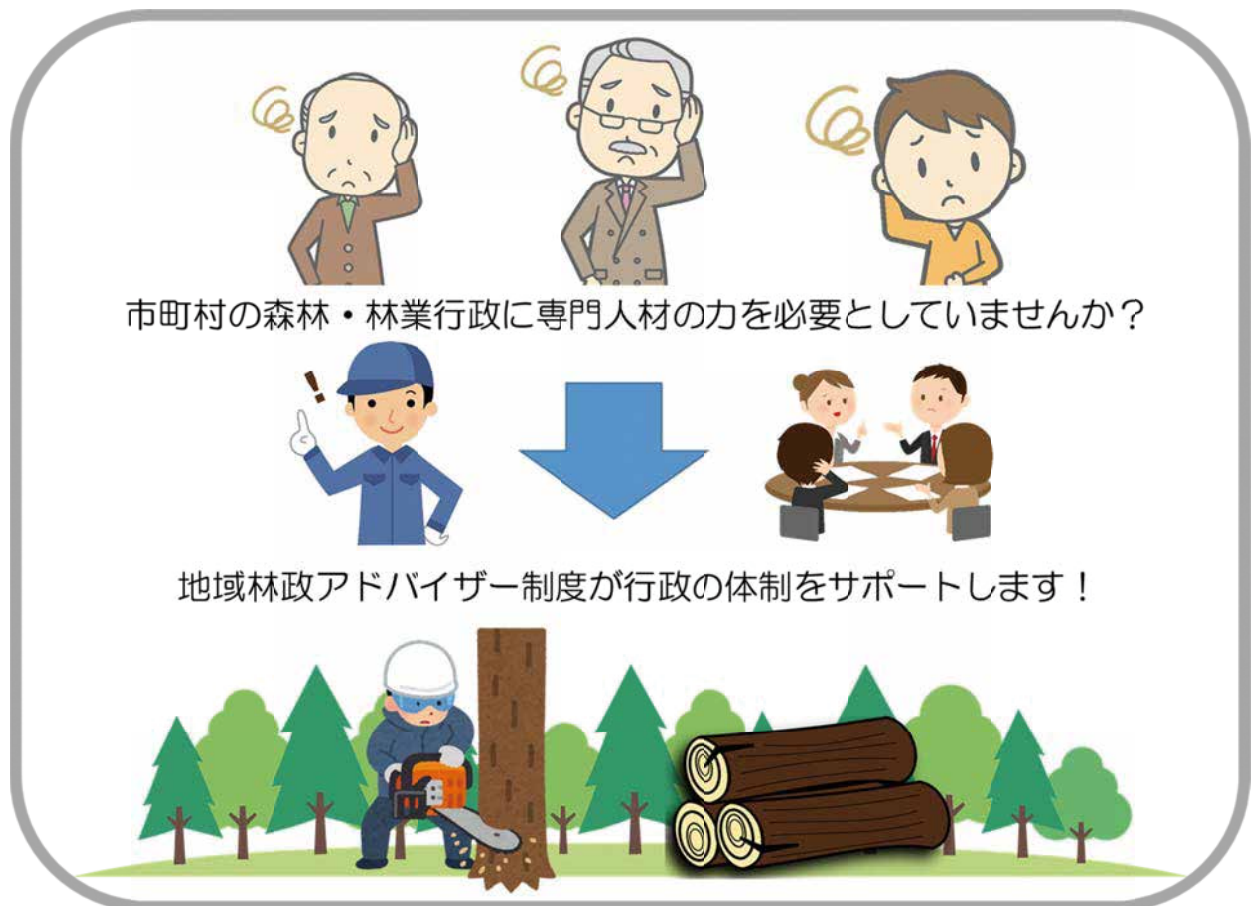
長崎県の取組み

長崎県では、地域林政アドバイザーを増やしていくため、平成30年11月に研修会の開催を予定しています。研修会の内容は、森林・林業行政に必要な知識の習得、森林GISなどを活用した森林情報の利用、大村市での地域林政アドバイザーの活動事例などです。森林施業プランナーの方や市町の担当者の方の参加も可能です。

また、候補となる技術者や事例など情報の提供も行っています。

お問い合わせは、市町の林務担当課、または県庁農林部林政課森林管理班（095-895-2984）までご連絡ください。

（林政課 森林管理班）



【特集記事】



ちびっ子創作村
代表 入枝 恵美子 さん

代表の入枝さん(左)と、スタッフの間さん(右)

ながさき市民の森入り口(長崎市上戸町4丁目)にある「ちびっ子創作村」(以下創作村と称します。)代表の入枝恵美子さんを取材させていただきました。

創作村は、子どもが自然と触れ合い、豊かな情操を育むことを目指しています。

●ちびっ子創作村ができた経緯

創作村の敷地に入ると正面に「蜻蛉の舎(とんぼのいえ)」が見えてきます。その建物の和室には囲炉裏が設置され、火を求めて自然と人が集まりそうなたたずまいです。

しかし入枝さんにお話を伺うにつれて、この建物は、子ども達の利用を見込んで造られた施設ではないことがわかってきました。実はお義母さんの隠居部屋として造られていたのです。残念なことに完成を待たずにお義母さんは亡くなり、入居者のいない家屋となってしまいました。

施主であったご主人は、お義母さんの逝去に途方に暮れておられたそうですが、あ

る時、子ども達に施設を開放することを思い立ちます。昭和52年頃のことです。



蜻蛉の舎(とんぼのいえ)

●ちびっ子創作村の活動

創作村は昭和 61 年（1986 年）にオープンし今年で 32 年目となります。来場者は年間 1,000 人ほど、今までに長崎市から依頼を受けて不登校児童の受け入れ（年 7 回）、ボーイスカウトの訓練なども受け入れたこともあるそうです。

また昨年度、森林・山村多面的発揮対策交付金を活用して敷地内の斜面にある作業路（遊歩道としても使われている）を 376m 開設することができました。開設の目的は、森林整備を行い雑木林や竹林で活動する子ども達の安全を確保するためです。ボランティアスタッフの協力のおかげで作業路を完成させることができました。

現在、24 名のボランティアスタッフと共に活動を行っていますがそこには課題もあり、活動の継続の為に若手のスタッフの参加が必要だそうです。

●創作村でできる活動

創作村には、工作室、山小屋図書館、五右衛門風呂、展望台、木工作業場、クライミングウォールや石窯など野外活動に必要なものはほとんど備えてあり、さまざまな野外活動が気軽に行えます。

現在は森林体験活動を主に行っていますが他にも沢山の体験ができます。

① 蜻蛉の舎

鍋料理、囲炉裏、茶会、研修会など

② 山小屋図書館

2 万冊余の図書とその啓発・読みきかせ・レポートのまとめ・読書会など

③ 広場

木工、竹細工、昔あそび、日帰りキャンプ、

プ、もちつき、バーベキューなど

④ 森の中

ロープあそびと梯子、まきひろい、秘密基地、樹木名、クライミング体験、ネイチャーゲームなど

⑤ 青空教室

工作、レクチャー、紙芝居、野鳥観測、学習発表会、花炭、漬物など

⑥ 竹林

竹の子掘り、竹林の育て方

⑦ 畑

野菜づくり、ハーブ、薬草、果樹、植物散策、食べられる植物栽培など

創作村は午前 9 時から午後 4 時まで子供達を受け入れています。宿泊はできません。

創作村を利用する方は、自己責任を原則に火の始末、後片付け、ごみの持ち帰りを守って楽しく利用してほしいそうです。

利用料金は低額で指導者と子供達十数名の団体に施設を利用しても 5,000 円程度です。

「みんなで楽しく遊ぼう！学ぼう！語ろう！友達を作ろう！」の創作村の標語が示すように、代表の入枝さんは、多くの子供達の訪問を心待ちにしているそうです。



五右衛門風呂（ごえもんぶろ）

（NPO法人 地域循環研究所）

林業普及だより

平成30年度森林・林業技術者育成研修 基礎編 対馬の開催

はじめに

平成30年6月11日から12日に対馬市において、「平成30年度森林・林業技術者育成研修（基礎編）対馬」を対馬振興局林業課主催で行いました。

この研修は、対馬の森林整備推進、林業成長産業化へ向け、今後活躍が期待される林業技術者への基礎的知識や技術の習得を目的として、対馬市、長崎県林業公社対馬事務所、対馬島内の認定事業体に所属する、経験年数がおおむね3年以内の者を対象としました。

1日目（座学）

林業の基礎知識の習得を目的としており、日本の森林・林業の概要、育林技術、林業機械と路網、木材の利用・流通など、林業に関わる幅広い項目について講義を行い、研修終了後に理解度テストを実施しました。



研修会（座学）の様子

2日目（実習）

現地における森林調査、森林作業道の設計、現場管理等の実習を行いました。まず、原木の島外出荷のための船積みが当日行われていたことからその状況を説明、見学を行いました。その後、現場において、集約化施業の状況、高性能林業機械や作業システム、路網状況について説明、意見交換等を実施した後、森林調査として標準地調査の方法について実習をしました。



レーザーテックスを使用した樹高測定

標準地（100 m²）を設定する方法や測桿やレーザーテックスを使用した樹高の測定のやり方について説明しました。

最後に

研修後にアンケートを実施したところ、大多数の方が今回のような研修を継続して行って欲しいと回答していました。特に専門職のない対馬市では、これまで林業に携わっていない方が配属されることが多いため、基礎的な内容の研修をしてくれるとありがたいという意見がありました。

このことから対馬振興局では、今後も対馬の林業技術者の育成を継続していきたいと考えています。

（対馬振興局 林業課）



高性能林業機械（ハーベスタ）の説明

地方だより

第4回多良岳ツクシシャクナゲ祭り 盛大に開催(県央)



市長を囲んでの記念撮影

4月22日、高来町山林協議会(会長:増山忠男氏)の主催により、諫早市高来町しゃくなげ高原において、第4回多良岳ツクシシャクナゲ祭りが、協議会関係者、市・県の行政関係者および市民など総勢80名の参加により開催され、可憐に咲くツクシシャクナゲを觀賞しました。

この式典は、平成23年度から、荒廃が進んでいた「多良岳ツクシシャクナゲ群叢」周辺のシャクナゲ林を再生させたことを契機として、平成27年度から開花の時期となるゴールデンウィークの前に毎年実施されています。

開催にあたり増山会長からは、「我々が、取り組んできたシャクナゲ林に咲く可憐なピンクの花を、一人でも多くの方々に見ていただきたい。またこれまでの4年間の取り組みでツクシシャクナゲの生育に適した光環境も理解できるようになり管理方法も分かってきた。なにより多くの方が訪れることで地域が元気になればと祈念している」という

挨拶がありました。

今後も、ツクシシャクナゲ植栽3,000本(現在2,000本植栽)に向け轟峡上流を日本一のツクシシャクナゲ林へ再生していかれるとのことですので、引き続き市と連携しながら支援していきたいと考えています。



多良岳を背景に可憐に咲くツクシシャクナゲ

(県央振興局林業課)

地方だより

新上五島町のみどころ 奈良尾のアコウ樹（五島）

五島といったらツバキ!!!と思われる方も多いかもかもしれません。でもツバキ以外にも魅力的な木もあるんですよ！

今回は、新上五島町にある巨木をご紹介します。と思います。

町の南側に位置する奈良尾港から徒歩で10分の場所に奈良尾神社という神社があります。鳥居をくぐるとあらびっくり！何かが複雑に絡まった不思議な様子トンネルがあるではないですか！？



実は、これはアコウという樹種です。アコウはクワ科の植物で、地上に気根という根を絡み合わせながら成長しますが、奈良尾神社のアコウは絡み合った気根がちょうど参道をまたぐように分かれ、トンネルのようになっています。

垂れ下がった気根の様子は、日本の植物とは思えないような不思議な感じがします。樹高は約25m、幹周りは約12mもあり、神社の境内から木の全体像を見ると10mはありそうな枝を四方に伸ばし、圧巻のたたずまいです。

樹齢650年を超えるというこのアコウは、国の天然記念物にも指定されています。上五島にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！



(五島振興局 林務課 新上五島町駐在)

林業団体情報

小場政昭氏 農林水産大臣賞受賞！！

去る6月20日（水）全森建総会に先立って行われた全国森林土木建設業協会創立35周年記念表彰行事で、森林土木事業の発展・向上に多大なる貢献があったとして、長崎県森林土木建設業協会会長の小場政昭氏が農林水産大臣賞を受賞されました。

小場会長は現在に至るまで県森建技術部会長3年間、副会長3年間、会長10年間を歴任されておられるほか、平成9年の山地防災ヘルパー協会の設立当初から参加し、現在に至るまで副会長として会員をリードし、地域の安全・安心な生活の確保に向けて尽力されています。

県内において上記の役職を歴任される一方で、全森建の技術労働委員会の委員として10年間勤められ、全国的な視野に立って森林土木事業における諸問題を把握し、施工技術の向上、現場実態に即した設計積算の実現に貢献されています。

また、雲仙災害復興事業を中心とした建設工事においては、国、県が発注する工事で農林水産大臣賞、林野庁長官賞、九州森林管理局長賞2回、県知事賞6回を受賞するなど



農林水産大臣賞を受賞時の小場政昭氏

高い技術力を評価されているほか、雲仙災害雇用確保のために奔走し、復興の足掛かりに努力されています。

さらに、先の熊本地震においては災害発生直後に、いち早く、水や食料等を満載し、緊急な被災者の救援活動に尽力され、九州管内国有林事業関係者で組織された熊本林業土木協会の会員の一人として農林水産大臣賞を受賞されています。

このような数々の功績が認められ、この度の受賞に至ったものであります。

小場会長の今後なお一層のご発展を祈念し、心からお喜び申し上げます。

（長崎県森林土木建設業協会）



全国森林土木建設業協会表彰式の様子

平成30年度の研究紹介 ～森林研究部門～

はじめに

長崎県農林技術開発センター森林研究部門では、森林・林業に関する様々な分野の研究に携わっています。最近問題となっているシカ被害対策や再造林に向けたコンテナ苗等の種苗対策と共にツバキ油やハラン等の森林所有者の所得向上に向けた研究が主体になっています。今年度取り組む主な課題の概要について紹介します。

ヒノキエリートツリーコンテナ苗生産技術の開発 (H29～31)

エリートツリーは、選抜された遺伝的に優れた精英樹同士を交配させ、従来よりも成長や形質に優れた第2世代精英樹です。特性としては、成長が良い。材の剛性において著しい欠点がない。幹の通直性において著しい欠点がない。雄花着花量が多くない。などがあり、特に初期成長に優れることから下刈り回数を従来より短縮できることが期待されます。

今後、低コストで再造林を進めるためのヒノキエリートツリーコンテナ苗を生産するための肥培管理条件を明らかにします。

ヒノキ丸太の乾燥方法とチップ管理方法の確立 (H29～30)

木質系燃料の利用を進めるには、安定した品質（含水率）のチップの生産・供給が求められます。

品質の安定したチップを生産するため、丸太やチップの管理方法を確立します。

ハラン切り葉の品質向上技術の開発 (H29～31)

ハランは、県内で中山間部における重要な林産物となっています。筋状に斑の入ったシマハランは、単価が高いが定植後年数経過すると斑が入らなくなる青葉化現象が課題となっています。そこで、低労務、低コストで斑入りの葉を安定して生産するための技術を検討しています。

五島ツバキ活性化事業 (H25～30)

ツバキ油による五島振興を図るため、受粉形態別の種子の形成と油重量の関係の試験研究及びヒノキバヤドリギ等の生育阻害対策技術を開発します。また、これまでのツバキ油に関する研究成果を基に事業者への技術移転及び新商品開発への働きかけを行います。

花粉症対策品種の開発の加速化事業 (H29～)

花粉発生源対策として迅速な雄花着花量の検査手法が求められています。林木育種センターとの共同試験として、「雄花着花特性と実際の雄花着花量との関係の調査」に取り組みます。県内の実生のスギについて雄花着花性を「特定母樹指定基準」に基づいて調査を行います。

九州・四国地域の若齢造林地におけるシカ被害対策の高度化 (H29～33)

防鹿柵を使わないシカ被害対策として、ツリーシェルターの施工と大苗植栽に着目し、これらのシカ被害軽減効果の整理や課題を再検討します。

早生樹現地適応化試験 (H29～31)

植林後初期の樹高成長量や伐期までの材積成長量大きい「早生樹」を用いた短伐期林業について長崎県の現地に適応できる樹種を特定するために試験研究を行います。

また、他にも「森林情報解析」「シカによる森林被害緊急対策」「獣害を考慮した更新技術の実証」などの研究に取り組みます。

最後に

地域の産業の育成を図っていくには、新たな技術開発による生産性の向上は欠かせません。農林技術開発センター森林研究部門では、地域に役立つ成果を目指して研究を進めていきます。

(農林技術開発センター)

紹介コーナー 渡部商店



渡部商店は戦前より続く非常に歴史の長い商店です。当初は主に下駄を取り扱う商店でしたが、戦後まもなく漁業や炭鉱関係に用いる竹製品等を取り扱う商店へと変化していきました。当時は魚市場が目の前だったことから、魚を入れる魚籠（ビク）や計量・持ち帰り用の竹籠、石炭を運搬する竹籠などがよく売っていたそうです。これらの商品の一部は現在でも取り扱いはありますが、竹細工職人の減少により入荷がほとんどなくなってしまい、徐々に数が減っているそうです。

店内に所狭しと並んだ、大小様々な竹製品は、長崎の繁栄の歴史を感じさせます。

渡部商店（渡部竹製品店）

電話：095-822-5751

住所：長崎県長崎市樺島町
6-16



伊万里木材市況

【ヒノキ】

平成30年6月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4 m	16~18	直	17,700	普通	多い	多い
	16~18	小曲り	16,200	普通	多い	多い
	20~22	直	16,000	普通	多い	多い
	20~22	小曲り	15,500	普通	多い	多い

【スギ】

平成30年6月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4 m	18~22	直	13,200	普通	多い	多い
	18~22	小曲り	11,500	普通	多い	多い
	24~26	直	13,500	普通	多い	多い
	24~26	小曲り	11,500	普通	多い	多い

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

ながさき県民の森 野生きのこ観察会Ⅱ



長崎きのこ会のメンバーと一緒に、野生きのこを探しながら「県民の森」の中を散策します。散策後は見つけたきのこの名称判定を行います。(自由参加)

主催：ながさき県民の森管理事務所

開催日時：平成30年9月30日(日)
10:00～13:00

募集人員：20名(予約制・先着順)

参加費：無料

募集期間：平成30年8月30日～9月29日
(定員に達し次第締め切り)

当日受付時間：9:30～9:50

集合場所：ながさき県民の森「森林館」

※雨天決行ですが、荒天など気象条件によっては中止になる場合があります。

準備するもの：山歩きしやすい服装と靴で参加してください。帽子、軍手、水筒、虫よけなども必要に応じて。天候によっては雨具等。(雨天決行)

※散策後も参加する場合は昼食持参

参加予約申し込み・問い合わせ：

ながさき県民の森管理事務所
0959-24-0181

パソコン：

<http://eap.pref.nagasaki.lg.jp/kv2/?42000r00002977KPF>

携帯・スマホ：

右のQRコードを読み込んで申し込みサイトへアクセスしてください



ながさき県民の森 地図